

中学校第 2 学年 美術科学習指導案

1 題材名 生物を生み出そう

2 題材設定の趣旨

(1) 題材観

本題材の重点指導事項は、現行学習指導要領第 2 学年及び第 3 学年の内容 A 表現(1)イ「主題などを基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練ること」及び、B鑑賞(1)ア「造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的と調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わうこと」である。新学習指導要領では、内容 A 表現(1)ア(ア)及び B 鑑賞(1)ア(ア)の指導事項に該当する。これらの項目を関連付けながら〔共通事項〕を身に付けさせていくことを趣旨とする。

本題材で取り上げるアサンブラージュの手法は、「組み合わせ」「寄せ集め」を意味する美術用語である。素材を様々な寄せ集め、組み合わせる手法の総称で、ジャン・デュビュッフエが 1950 年代頃から用い始めたとされている。1960 年代に入ると、アルマン、ティンゲリー、クリストらがこの手法を使って作品を発表し、アメリカでも 1961 年にニューヨーク近代美術館で「The Art of Assemblage」が開催されるなど、工業化社会における消費文化を背景としながら定義が徐々に浸透していった。

本題材では、この手法に関連性をもつ、ヤノベケンジ、名和晃平の作品を鑑賞させる。ヤノベケンジと名和晃平は日本におけるコンテンポラリーアートの代表的作家として紹介したい。ここで取り上げる作品には、コンセプトが異なる一方で、幾つかの共通点が見受けられる。それは、全体像として生物が表現されている、あるいはモチーフの一部となっていることや、アサンブラージュの手法（他素材を構成する手法）が用いられていることなどである。また、異質な素材の構成であるが故に、全体像から強烈な存在感やメッセージが感じられるということも特筆すべき点である。これらの作品を鑑賞させることで、表現に用いる素材への意識を高められると同時に、構成のためのアイデアを広げることができる。また、〔共通事項〕の視点から気付いたことを意識的に自らの表現にも生かすようにしていくことで、表現と鑑賞の領域を往還しながら美術科の「知識」に位置付けられている〔共通事項〕の実感を伴った習得につなげていくことができると考える。

(2) 生徒観

生徒は、第 2 学年の 1 学期までに独立した鑑賞題材の授業を数回経験しており、表現題材の中に位置付けられる相互鑑賞については、ほとんどの題材で行われている。3 組を対象に実施した事前アンケートでは、「表現の授業は好きですか」に対して、「とても好き」または「どちらかと言えば好き」と肯定的に回答した生徒が約 76%、「鑑賞の授業は好きですか」に対して、「とても好き」または「どちらかと言えば好き」と肯定的に回答した生徒が約 40%だった。鑑賞の授業が好きではないと答えた理由には、「苦手だから」といった具体性に欠ける理由が多く、「分からないから」に類する理由も多く見られ、鑑賞をする際の視点が身に付いていない生徒が多いと捉えられた。一方で、鑑賞する際に注目しているところについては、「形」や「色」、「構図」などの記述も見られ、一部の生徒は美術科で「知識」として位置付けられた〔共通事項〕に該当する項目の重要性を感じていたり、造形的な視点について意識したりしていることも分かった。

(3) 指導観

導入で、まずロバート・ラウシェンバーグ作「モノグラム」を提示し、アサンブラージュの特徴である他素材の構成について再認識させる。その後、ヤノベケンジ作「ロッキング・マンモス」、名和晃平作「PixCell-Double Deer#4」の 2 点を鑑賞させる。その際に、生徒が〔共通事項〕の視点をもって鑑賞で

きるように、「色彩や光の見え方」、「表現材料及び素材」、「構成の仕方」、「空間や動勢」の4つの視点をワークシート上で示し、これに「全体のイメージ」の項目を加える。これらの視点は〔共通事項〕として示されている項目を整理し、作品を形づくる造形的な要素として示すものである。

展開では、鑑賞の視点ごとの気付きや多様な素材からイメージを広げ、資料を活用しながらアイデアを広げさせる。その後、アイデアスケッチを基に立体での表現を行わせる。素材は共通で使用できる物と生徒が各自持参した物を使用できるようにする。構成の際にも〔共通事項〕の視点からの気付きが生かされるよう促す。

展望では、それぞれの表現の工夫に気付かせるとともに、アサンブラージュの手法の効果やその表現の造形的なよさや面白さなどについて振り返らせる。その際に、実感を伴った「知識」の習得を促すことができるように、鑑賞のワークシートとアイデアスケッチや作品のつながりに着目させる。

3 題材の目標

- アサンブラージュの手法が活用された作品の鑑賞や、その手法を活用した表現に関心をもって、意欲的に取り組もうとする。(美術への関心・意欲・態度)
- 形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、アサンブラージュの効果を意識しながら創造的で豊かな構想を練ることができる。(発想や構想の能力)
- 感性や造形感覚などを働かせて、アサンブラージュの効果を意識しながら形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、創造的に表すことができる。(創造的な技能)
- 感性や想像力を働かせて、〔共通事項〕の視点からアサンブラージュの手法ならではの造形的なよさや美しさ、構成の魅力、創造的な表現の工夫などを感じ取り味わうことができる。(鑑賞の能力)

4 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度〔関〕	発想や構想の能力〔発〕	創造的な技能〔技〕	鑑賞の能力〔鑑〕
① アサンブラージュの手法が活用された表現に関心をもって、意欲的に鑑賞しようとしている。 ② アサンブラージュの手法を活用して表現することに関心をもって、意欲的に表現しようとしている。	① 感性や想像力を働かせて、対象を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことを基に形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、アサンブラージュの効果を意識しながら創造的で豊かな構想を練っている。	① 感性や造形感覚などを働かせて、アサンブラージュの効果を意識しながら形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、創造的に表現している。	① 感性や想像力を働かせて、〔共通事項〕の視点からアサンブラージュの手法ならではの造形的なよさや美しさ、構成の魅力、創造的な表現の工夫などを感じ取り味わっている。

5 題材の指導計画と評価計画

時	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動	○評価規準 〔評価の観点〕 【評価方法】
1	◎〔共通事項〕の視点で鑑賞を行い、アサンブラージュの手法が活用された表現のよさや工夫を見いだす。 ○アサンブラージュの作品を鑑賞する。 ・アサンブラージュの手法を知り、幾つかの作品を〔共通事項〕の視点から鑑賞する。	○アサンブラージュの手法が活用された表現に関心をもって、意欲的に鑑賞しようとしている。〔関①〕【観察】 ○感性や想像力を働かせて、〔共通事項〕の視点からアサンブラージュの手法ならではの造形的なよさや美しさ、構成の魅力、創造的な表現の工夫などを感じ取り味わっている。〔鑑①〕【観察】【ワークシートの記述】
2	◎アサンブラージュの効果を意識しながら構成を工夫し、創造的で豊かな構想を練る。 ○アイデアスケッチを行い、完成予想図を制	○アサンブラージュの手法を活用して表現することに関心をもって、意欲的に表現しようとしている。〔関②〕【観察】 ○感性や想像力を働かせて、対象を深く見つめ、感じ取

	<p>作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサンブラージュの効果を意識しながら構想を練る。 	<p>ったことや考えたことを基に形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、アサンブラージュの効果を意識しながら創造的で豊かな構想を練っている。</p> <p>[発①]【観察】【ワークシートの記述】</p>
3	<p>◎形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○アサンブラージュの手法を活用し立体で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、素材の特性などを踏まえてアサンブラージュの手法を活用し表現を行う。 	<p>○アサンブラージュの手法を活用して表現することに関心をもって、意欲的に表現しようとしている。</p> <p>[関②]【観察】</p> <p>○感性や造形感覚などを働かせて、アサンブラージュの効果を意識しながら形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、創造的に表現している。</p> <p>[技①]【観察】【作品】</p>

6 本時（1／3）の目標

- アサンブラージュの手法が活用された表現に関心をもって、意欲的に鑑賞しようとする。[関①]
- 感性や想像力を働かせて、[共通事項]の視点からアサンブラージュの手法ならではの造形的なよさや美しさ、構成の魅力、創造的な表現の工夫などを感じ取り味わうことができる。[鑑①]

7 本時（1／3）の展開

	学習活動	指導及び支援	・評価【方法】
導 入	1 ロバート・ラウシェンバーグ作「モノグラム」を鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> ・部分から全体像の順に鑑賞できるようにする。 ・今回取り上げる手法の概要が理解できるように、「アサンブラージュ」と「ジャンクアート」について簡潔に説明する。 	
	めあて：様々な視点をもって鑑賞を行い、表現のよさや工夫を見付けよう		
展 開	2 ヤノベケンジ作「ロッキング・マンモス」を鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> ・[共通事項]の視点をもって鑑賞を行うことができるように、「色彩や光の見え方」、「表現材料及び素材」、「構成」、「空間や動勢」の4つの視点を与える。 ・全体像の印象を強く感じることができるよう、部分から全体像の順に鑑賞する。 ・新たな気付きをワークシートに加筆し、視点ごとの気付きを共有するよう促す。 ・鑑賞の学びを深めることができるように、作者が語っている表現のコンセプトや構成されている素材の情報を与える。 ・様々な視点をもって鑑賞した内容を全体で共有し、表現のよさや工夫を感じ取るためには鑑賞の視点が重要であることを実感できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アサンブラージュの手法が活用された表現に関心をもって、意欲的に鑑賞しようとしている。 [観察] ・感性や想像力を働かせて、[共通事項]の視点からアサンブラージュの手法ならではの造形的なよさや美しさ、構成の魅力、創造的な表現の工夫などを感じ取り味わっている。 [観察] 【ワークシートの記述】
	3 名和晃平作「PixCell-Double Deer#4」を鑑賞する。		
	4 グループで気付きを伝え合う。		
	5 鑑賞した作品のコンセプトを知る。		
	6 鑑賞で学んだことを振り返る。		
終 末	7 次時の見通しをもつ。	・次回から行う表現について簡潔に説明し、次時の活動のイメージをもたせる。	

8 本時（1／3）の評価規準と判定基準

題材の評価規準	○評価の進め方と【評価方法】 判断する目安と指導の手立て
○アサンブラージュの手法が活用された表現に関心をもって、意欲的に鑑賞しようとしている。	<p>○鑑賞して気付いたことや考えたことを意欲的に記述しているか観察する。【観察】</p> <p>○意見交換の際に自ら発言しているか観察する。【観察】</p> <p>おおむね満足（B）と判断する目安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞して気付いたことや考えたことを記述している。 ・意見交換の際に発言している。 ・他者の発言内容を聞き、ワークシートに加筆しようとしている。 <p>十分満足（A）と判断する目安</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を注意深く鑑賞して気付いたことや考えたことを積極的に記述し、意見交換の際に自ら発言している。 ・他者の発言内容を注意深く聞き、ワークシートに加筆しようとしている。 <p>指導の手立て（C）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを例示し、生徒の気付きを促す。 ・発言を聞いて加筆するよう促す。
○感性や想像力を働かせて、[共通事項]の視点からアサンブラージュの手法ならではの造形的なよさや美しさ、構成の魅力、創造的な表現の工夫などを感じ取り味わっている。	<p>○ワークシートの記述内容を確認する。【ワークシートの記述】</p> <p>○グループでの発言内容や加筆の内容を確認する。【観察】【ワークシートの記述】</p> <p>おおむね満足（B）と判断する目安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点に基づいて作品を鑑賞し、気付いたことを項目ごとに1点から2点記入している。 ・視点での気付きを基に、全体のイメージについて記述している。 <p>十分満足（A）と判断する目安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な視点に基づいて作品を注意深く鑑賞し、気付いたことを項目ごとに3点以上記入している。 ・視点での気付きを基に作品を捉え、全体のイメージを豊かに広げ、それらのイメージについて記述している。 <p>指導の手立て（C）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの項目を再度確認させ、視点ごとに鑑賞できるようにする。

9 本時（2／3）の目標

- アサンブラージュの手法を活用して表現することに関心をもって、意欲的に表現しようとする。[関②]
- 形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、アサンブラージュの効果を意識しながら創造的で豊かな構想を練ることができる。[発①]

10 本時（2／3）の展開

	学習活動	指導及び支援	・評価【方法】
導 入	1 前時の活動を振り返り本時の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の活動を想起して本時の活動に入ることができるように、今回活用する手法の概要や、視点を基に鑑賞した作家の作品などを提示して簡単に振り返らせる。 ・本時の大まかな流れを示し、活動に見通しをもつことができるようにする。 	
	めあて：素材の構成を工夫しながらアイデアスケッチをして、イメージを広げよう		
展 開	2 表現に使用できる素材及び構成するためのつなぐ素材を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現に使用するための多様な素材（土台、ビー玉、ビーズ、ボタン、針金、クリップ等）を提示する。 ・素材同士をつなぐ材料（接着剤各種、グルーガン）を提示し、注意事項を説明する。 ・現存する生物や過去に存在したとされる生物、空想上の生物などから、表現したい作品全体のフォルムやイメージを広げていけるように、幾つかの資料を提示し、確認できるようにしておく。 ・ワークシートの視点を基に様々な素材からイメージを広げ、構成の工夫を考えていくように促す。 ・構成する素材や、素材をつなぐための材料、鑑賞で学んだ視点から考えた内容などをアイデアスケッチに言葉で加筆するよう促す。 ・つくりたい生物のフォルムを確かめたい場合や発想が広がらない生徒には、タブレットの活用を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アサンブラージュの手法を活用して表現することに関心をもって、意欲的に表現しようとしている。【観察】 ・感性や想像力を働かせて、対象を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことを基に形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、アサンブラージュの効果を意識しながら創造的で豊かな構想を練っている。【観察】【ワークシートの記述】
	3 アイデアスケッチを行う。		
終 末	4 次時の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は立体的な表現を行うことを伝え、次時の活動のイメージをもたせる。 	

11 本時（2／3）の評価規準と判定基準

題材の評価規準	○評価の進め方と【評価方法】 判断する目安と指導の手立て
○アサンブラージュの手法を活用して表現することに関心をもって、意欲的に表現しようとしている。	○アイデアスケッチを行う様子を机間指導で観察する。【観察】 おおむね満足（B）と判断する目安 ・アサンブラージュの手法に関心をもって、アイデアスケッチを行おうとしている。 十分満足（A）と判断する目安 ・アサンブラージュの手法に関心をもって、複数のアイデアスケッチを積極的に展開しようとしている。 指導の手立て（C） ・表現したいイメージのヒントとなるように、素材からの構成を例示する。
○感性や想像力を働かせて、対象を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことを基に形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、アサンブラージュの効果を意識しながら創造的で豊かな構想を練っている。	○ワークシートの記述、アイデアスケッチなどから主題や表現意図を読み取る。 【ワークシートの記述】 おおむね満足（B）と判断する目安 ・素材の特性などを踏まえて構成を考えてアイデアスケッチを行っている。 ・構成する素材や、素材をつなぐための材料、鑑賞で学んだ視点から考えた内容をアイデアスケッチに言葉で加筆している。 ・アイデアスケッチに素材名や鑑賞で学んだ視点から考えた内容の併記が見られる。 十分満足（A）と判断する目安 ・素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、複数のアイデアスケッチを行っている。 ・構成する素材や、素材をつなぐための材料、鑑賞で学んだ視点から考えた内容をアイデアスケッチに言葉で加筆している。 指導の手立て（C） ・アイデアを広げることができるような参考資料を提示する。

12 本時（3／3）の目標

- アサンブラージュの手法を活用して表現することに関心を持ち、意欲的に表現しようとする。〔関②〕
- 形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、創造的に表現することができる。〔技①〕

13 本時（3／3）の展開

	学習活動	指導及び支援	・評価【方法】
導入	1 前時の活動を振り返り本時の見通しをもつ。	・鑑賞とアイデアスケッチのワークシートで活動を振り返らせ、立体化の流れをイメージするよう促す。	
	めあて：アサンブラージュの手法を使って立体化しよう		
展開	2 立体で表現する。	・アイデアスケッチを基に、形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、表現のテーマに沿って表現するよう促す。 ・表現の素材をつなぎ合わせる材料が妥当かどうか表現しながら確認するよう促す。 ・表現の素材をつなぎ合わせる場面であまくいかない生徒には、随時サポートを行う。	・アサンブラージュの手法を活用して表現することに関心をもって、意欲的に表現しようとしている。【観察】 ・感性や造形感覚などを働かせて、アサンブラージュの効果を意識しながら形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、創造的に表現している。【観察】【作品】
終末	3 表現を振り返る。	・導入の鑑賞で気付いたことが表現にどのように生かされたか、ワークシートの視点を基に振り返らせる。	

14 本時（3／3）の評価規準と判定基準

題材の評価規準	○評価の進め方と【評価方法】 判断する目安と指導の手立て
○アサンブラージュの手法を活用して表現することに関心をもって、意欲的に表現しようとする。	○意欲的に表現を行っているか観察する。【観察】 おおむね満足（B）と判断する目安 ・素材の構成を考えながら表現に取り組んでいる。 十分満足（A）と判断する目安 ・アイデアスケッチを基に、多様な素材の構成を試しながら完成のイメージに近付

している。	けようとして意欲的に表現している。 指導の手立て (C) ・表現したいイメージを明確にもつことができるよう、ワークシートを振り返らせる。
○感性や造形感覚などを働かせて、アサンプラージュの効果を意識しながら形や色彩、素材の特性などを踏まえて構成を工夫し、創造的に表現している。	○構成を工夫し修正したりやり直したりして表現を進めているか観察する。【観察】 ○構成を工夫しながら表現を進めているかを作品の変化から見取る。【作品】 おおむね満足 (B) と判断する目安 ・アサンプラージュの効果を意識しながら構成を工夫している。 十分満足 (A) と判断する目安 ・アサンプラージュの効果を意識しながら構成を工夫し、創造的に表現している。 ・形や色彩、素材の特性などを踏まえて表現し、構成について試行錯誤している。 指導の手立て (C) ・素材の特性や素材の構成のヒントを与え、構成の工夫ができるよう促す。